150年前に



カトリック長崎大司教区 広報委員会

7852 - 8113 長崎市上野町 10 - 34 カトリックセンター内 Te. 095 - 843 - 3869

振替口座 01880 - 5 - 2699 発行人 大 水 文 隆 印刷所 株式会社 藤木博英社

教皇さまの意向

日

受精の瞬

けての歩み

護する医療の使命受精の瞬間からいのた

宣教

キリスト教各派の

一致に向

般

れる真の経済発展すべての人の尊厳が保障さ

Fax 095 - 843 - 3417

2 0 1 4

開催の今年は、旧に倍してよろ を申し上げます。 より長崎大司教として着座して しくお願いいたします。 こころより新年のごあいさつ わたしこと、神の御計らいに 教区シノドス

の意義について考えたいと思い 50周年を1年後にひかえ、そ 力をお願いいたします。 ます。これからもお祈りとご協 詫びしつつ、今後も神の御助け ました霊的・物的支援を感謝い よう努めることをお約束いたし によって皆様方のお役に立てる たします。不徳ゆえのことをお 10年を過ぎました。この間賜り 「日本の信徒発見」1

1550年、ザビエル神父が が起こった? す。 祭制高札を撤去します。

増えていきました。宣教師追放崎県全体に伝えられ、受洗者が平戸を訪れて以来、福音は現長 発展します。しかし、1614 の没後、教会は日本中でさらに と26人の処刑を命じた豊臣秀吉 キリスト教を邪法と断じた 6 \neg (1) 日

外に追放します。長い迫害と殉国に禁令を出し、宣教師らを国 徳川家康は、将軍秀忠の名で全 教の時代の始まりです。

1858年、5カ国(米蘭 国政策を行っていた幕

された明治政府は、73年、つ (大量検挙による組織の崩壊)件を機に各地で最後の「崩れ」 父たちとが密かに行き交いま このような弾圧を西欧から非難 が起こり、殉教者も多数出ます。 その後、各地の信者たちと神 ところが、浦上での自葬事

本の教会の復活となる摂

館の5港を開き、条約国に居留 打ち明けたのです。「信徒発見」 を長崎に派遣して大浦天主堂建 露英仏)と修好通商条約を締結 の出来事です。 ティジャン神父を訪ね、信仰を カ月後、65年3月17日、十数名の 設に当たらせます。献堂式の1 を建て、33年、プティジャン神父 神父が横浜に着任、62年に教会 と独自の宗教施設の建設を容認 浦上の潜伏キリシタンたちがプ 年、パリ外国宣教会のジラール したのです。こうして1859 して、長崎、神戸、新潟、横浜、函

信徒発見の意義

に、殉教者の信仰の種が芽をふ 60年に及ぶ禁教と迫害の末「信徒発見」の出来事は、2(1)日本の教会の復活 末 2

理的な出来事でした。

撃的な出来事です。 のない中で、殉教に至るほどの を世界の教会に明らかにした衝 信仰を絶やさず守り伝えた事実 信徒発見」は、特に聖職位階 迫害と潜伏の中での信仰の 継承の歴史を明らかにする

ローマ教皇でした。孤立していは、聖母マリア、司祭の独身性、 会は、『どちりなきりしたん』 のおかげで、マリアに導かれて、 ました。 をもとに同じ信仰を共有してい 音と教会の教えです。日本の教 代々受け継いだ信仰の内容、福 た彼らは、一貫したカテケジス トリック司祭と確認する基準 「ワレラノムネ アナタノムネ 主イエスと、主イエスを頭とす (イ) 潜伏教会の最初の告白は、 オナジ」でした。「ムネ」は、 プティジャン神父をカ

どこ?」「御子ゼズスさまを御叩「サンタ・マリアの御像は 仰告白に次いで口にしたのが腕に抱いていらっしゃる!」信 る教会と再会したのです。 「サンタ・マリア」でした。 「マ リアを通してイエスへ」という

世による「無原罪の御宿りの聖 の中で受け継がれ、日本の教会えた多くの殉教者と共に、潜伏 マリアを通して復活へ導かれた マリア」の信仰箇条の公布の 信仰は、「イエス、マリア」と唱 、聖母のご出現と教皇ピオ9

翌日のことでした。 ドでの聖母の最初のご出現の 、みの中止を宣言したのは、ル 大司教 ヨセフ 髙

見

明

誕と復活祭の日を繰り出して、言います。彼らは、毎年、主の降 いだのです。 などして、信仰を連綿と受け継 受難と死にあずかる生活をする 1年の暦を定めていました。 は悲しみ節(四旬節)です」 しみ節には祝い事を慎み、主の と 悲

宅すると「こんちりさん」の祈心の痛みを強く感じながら、帰 彼らは、心から神のゆるしを求 求める祈り」)を唱えたのです。 り(「完全に痛悔してゆるしを 総踏み」のとき、絵を踏み、良() キリシタンたちは、毎年の

ハネ・パウ ロ2世が来 8

教会の福音宣教に期待を寄 れました。同時に、日 た教会」の姿を国民に示さ 会議の精神である せられました。 日されて、 第2バチカン公 「開かれ 本の

開催して日本の教会を福音 国会議を、第2回を93年に 年に第1回福音宣教推進全団は綿密な準備のもとに87 み、宣教するよう推進 これを受けて日本の司教 し、社会に 開き、

されました。

例えば、他の

してきたように思います。

(ハ) 潜伏の教会は、神父に

目標に向かって模索する日 のは、教皇来日の2カ月後。 区広報委員会)に入社した私が「教報社」(現・教

つの会議に仕事上関わりな本の教会と共に、前述の2

がら福音宣教を学び、理解 関 明司教さまの大司教任命の 23年間の勤めで一番印象 です。200 公式発表の件

野に立った物の見方が要求教区報づくりは、広い視 島教区の三末篤實司教さま 年前10時、広 年前10月17日 久志利津男神父さまに伝 との情報を得て、最も緊張 に髙見司教さまが決まっ からの電話で、長崎大司教 した一日が始まりました。 早速、秘密裏に編集長の

何に取り組もうとしている

教区はどんな活動をして、

のかなど、積極的に周囲

ました。また、「慈悲」「サンタ・ の名を冠した組も信仰の涵養と隣 聞役(帳方の指図を聞いて各戸に 体づくりに参与しました。 人愛の実践、支え合いにより共 触れまわる)の3人の世話役が には帳方(指導者)、水方(授洗役)、 マリア」「聖体」「ロザリオ」「帯」 は 潜伏時代、各地の教会共同 同 3

た日本の教会」(福者ヨハネ・パは、「殉教者の血の上に建てられ 年には二○五殉教者を列福して、2年には二十六福者を列聖し、67 りにします。そして明治初期 普遍教会に日本を注目させ、日 外国宣教会を派遣します。186 度も試み、開国を予見するとパリ る」という希望をつなぎました。 ンヒサン(告白)のできる日が来 ウロ2世教皇) の信仰を目 は、「殉教者の血の上に建てられ普遍教会から遣わされた司祭たち の宣教師たちと重なって見えたに の教会を鼓舞しようとしました。 ロ(聴罪司祭)がやってきて、コ れてからもローマ教皇への思い。(^) 日本の教会は位階制度が ちがいない司祭の存在に力を得 ローマも日本の教会の再宣教を何 る。」聖母の導きにより「7代た の舟よ 丸にやの字の帆が見え 募らせます。「沖に見えるはパー て、堂々と信仰を表明しました。 てば(教皇が遣わす)コンヘソー l) 潜伏キリシタンは、殉教時代 の当 本 を崩

探ることを求められ、バチ見て長崎教区報の在り方を カンの動きにも注目しまし

るために、パソコン で午後7時。その発 される時刻は、日本 見司教さまの所に で緊張のうちに待ち き、報道各社にはバ を話し合いました。 ンの発表後に伝えること インターネットで確 祈りの中で公式に 教皇さまが昼のお 光表を まし の前 認す 時間 発表 チカ

え、神父さまはすぐ 出に向高

浦上教会での大司教着座 2カ月後の12月14日、

福岡・高宮教会所属



0 教の血は、やがて、大日本帝国憲法 の保障を引き出すことになるので(1889年)による信教の自由

信徒発見150周年の

(1) 「日本の信徒発見」 の 意義

原体験」なのです。この出来事を伝えてきた日本の教会の「信仰のと潜伏の歴史を通して信仰を育みザビエルから始まって成長と殉教 体験し、今の教会に照らし、日本の歴史に働きかけた神のみわざを追記念し祝うことは、日本の教会の 来事を体験した潜伏キリシタンの使命が刻まれています。この出継承されてきた信仰の正統性、そ くべき道を示し、明日への使命と みわざは、長崎の出来事ではなく、 事には、日本の教会の成り立ちと で述べたように、信徒発見の出 001年)。「2.信徒発見の意義」 約束をも示しているのです」(2 飾るだけではなく、今の教会の 彼らの証しは日本の教会の過去を て、信徒発見という神の不思議なは、日本の教会の一員でした。従っ しによって飾られました。しかし、 殉教者の忠実な信仰と輝かしい た。「日本の教会の最初の世紀 日本の司教たちにこう語られまし 福者ヨハネ・ パウロ2世教皇は 来 行

りますようお祈りいたします。

とを確認し、教区の歴史朝、各紙で報道されたこ ができて充実感を味わい に残る事項に関わること ました。

厳に執り行われました。 式は神の祝福のうちに荘

青木喜代子

に準備していた発表原稿た。発表を受けて、直ち

を報道十数社にファ

ック

教会独自の使命を果たす恵みを祈 ることを意味します。

題号変更のお知らせ

9年11月19日付で教皇庁典礼聖省教協議会の申請に応えて、196 Christianorum in Iaponia)の祝日」 庁典礼秘跡省より、3月17日は日 き、2013年10月4日付で申請 2年度臨時司教総会の決定に基づ 日本の教会の重大な出来事ですかしかし、「長崎の信徒発見」は 節中の記念日は「任意」なのです。 る一般原則』(14)によると、四旬 ます。ところで、『典礼暦に関す 崎の信徒発見」記念日となってい した。正式名称は「キリスト信 をしたところ、同月28日付で教皇 ら、名称は「日本の信徒発見」と de Inventione Christianorum) すべきなのです。そこで、201 者発見のおとめ聖マリア(B.M.V. より「記念日」として承認されま でしたが、日本の典礼暦では「長 (2) 日本の教会固有の hristianorum in Iaponia)の祝日」 3月17日は、日本カトリック司 の教会に固有の「日本の信徒発 今年は長崎教区の再出発昨年の信仰年を稻て 入れた「高山右近没後4 0周年」と列福を視野に スが開催されます。さら 年から14年に渡り、皆様 に返るためでもあります。 とにいたしました。それ の承認を得て、題号を『カ 00年」を準備する年で に来年の「信徒発見15 ともいうべき教区シノド た。 に親しんでいただきまし ばれ、2000年の大聖 のとして公募によって選 は、新時代に相応しいも トリック教報』に変わり は長崎教区広報紙の原点 トリック教報』に戻すこ 教区広報委員会は顧問会 もあります。これを機に、 今月号より、題号が『カ 題号『よきおとずれ』

感謝申し上げます。

1年、皆様方の上に主の祝福があ教皇ご来訪の実現を願い、この

として認可されました。これは、 日本の教会に周知した上で、来年 から実施されることでしょう。 司教様ご自身が決められ様が準備したいくつかの長である浦川和三郎司教長である浦川和三郎司教

号の「教区報の歴史と使られたことは、13年12月 の出来事を報せる」もの状況を知るために「教会 う名前には2つの願いがです。また『教報』とい の名に託した役割を担え刊に関わった方々が、そ ということ、そして信仰 込められています。キリ と、取り組んで参ります。 見大司教様のご指導のも る広報紙となるよう、髙 にしたいということ。創 によって結ばれた仲間の を報せる」ものにしたい めに「カトリックの教え ストの使徒を養成するた 命を思う」にあるとおり たものです。このとき 心で、朝40分、夕20分の読経を欠かさ

、寺や神社に多額の寄付をしていま

た。商売熱心だった祖父は信仰も熱

私は近江商人の家(東京)で育ちま

ましたので、今でも神社の前を通ると をとってお辞儀をするように教えられ

した。私は神社の前を通るときは帽子

反射的に体が動きます。

信徒発見150周年と高山右近列福に向けて

これだけのことは知ってほしい 八生を振り返るとき 1

イエズス会司祭 山岡 三治

がいま一度信仰と人生を見つめる機会のささやかな例を参考として、皆さん とを感謝しています。今日はそんな私 仰についてさまざまな経験ができたこ とでしょう。私もそうです。私も65年 そのたびに神の導きに感謝なさったこ 生を振り返ったことでしょう。そして です― を振り返ってみて、その中で信 の人生 ―今年は教員の定年という節目 はこの1年間に、幾たびかご自分の人 してくださればと願っております。 :いま一度信仰と人生を見つめる機会 「信仰年」が終わりました。皆さん

いころの宗教的環境

校に進みました。年に2、3回の仏教中学高校は祖父の意向で浄土宗の宗門 います。それはしばらくの間は土の中福音の種が私の心に播かれたのだと思 書の話がとても面白くて、そのときに の幼稚園に通いました。牧師先生の聖 校にのんびりした雰囲気を与えてくれ ありました。それでも宗教的環境は学 はすでに思春期・反抗期に入っていた 行事には大本山に参り高僧の話を拝聴 でしたが、後年、芽が出ることになりま く思います。区立小学校を卒業すると、 し、念仏をさせられました。そのころ 幼稚園は近くのプロテスタント教会 幼児の信仰教育の大切さをつくづ

ました。神仏も私の言うことを聞いて 手紙に至るとどうもわからなくなり、 読み、高僧の話を聞きに行ったり、聖書 生きるのか」と自問し、本をあれこれ くれませんでした。いざ入学すると、 を読み始めました。聖書はローマ人の 大学紛争で荒れ放題。「人は何のために たたきました。 ついに教会(プロテスタント)の門を

満たされました。 た。神を知り、証しする苦労と喜びに どで伝道トラクトを配りまくりまし 近に感じ、伝道に積極的になり、街頭な 勇気をもって行ったときです。神を身 きっかけは、祈りの会で自分の祈りを

の持つような静寂と落ち着きが見えなのに気づきました。言葉が多く、仏教たが、そのうちにしっくりいかないも ました。垣間見た僧堂生活は素晴らし土日坐禅、学生接心、僧堂接心に参加しかったのです。そこで禅寺に2年ほど ました。神の恵みの証しの人生でした。 生は驕らず、そのたびに少しでも神を 事をいくつも経験した方です。榎本先に米が満ちていたなどの奇跡的な出来 くアシュラム運動の榎本保郎牧師(今た。なかでも聖書のみ言葉に静かに聴 上級生(悟りが進んでいる人)が行いれたものでした。便所掃除や食事係は 生は伝道の旅の途中で50代で亡くなり し、神にゆるしを乞うのです。榎本先疑った瞬間があったことを人前で告白 くひかれました。家族に食べるものも治教会)の熱意と捨て身の信仰には強 いものでした。米粒ひとつも無駄にせ なくなったとき、一晩あけた朝には米櫃 5年通ったプロテスタント教会でし

おられたのでした。洗礼への最終的罪びとである私の帰還をずっと待っていくども涙を流しました。父なる神はいくども涙を流しました。父なる神は 聖書にはずいぶん熱中しました。登

あちこちの牧師に会いに行きまし

る神を感じていたからでもあります。 キリスト教のふところに戻った第 罰と正反対です。 の理由は、私に直接使命を与え

――高い目標の発見カトリックに出会う

い歴史のなかでキラ星のように輝いてけないけれども身近な聖人たちが、長 ク教会に移る決心をしました。そして るのではないかと考え始め、カトリッ や伝統にも驚きました。さらに愛宮ラ があります。その多様な信仰のあり方には聖人や修道院の素晴らしい祈祷書 るプロテスタントよりも、カトリッ います。個人の祈りの言葉に限界のあ 並びの平等な信者です。目標は初代教 すぐにイエズス会への入会の願 な環境なら怠慢な私でさえも成長でき ありかつ禅の指導者でした。そのよう サール神父、門脇佳吉神父らは神父で カトリック教会には常人ではたどりつ 会しかないように見えました。他方で プロテスタント教会では誰もがみな横 サがあり、ゆるしの秘跡がありました。 捧げた神父がおり、シスター を発見しました。そこには生涯を神に すようになり、カトリック教会の存在 がおり、ミ いを表

イエズス会入会 広い世界の発見

語の勉強のために1年留学に送られまンに1ヵ月滞在し、また台湾には中国 年を終えると見違えるように明るく積 めた6年間のヨーロッパ生活、アメリ した。司祭になってからはローマを含 せます。神学生時代に韓国、フィリピ 極的になったと言われました。 80度変わった気がします。修練期2 イエズス会はたびたび外国経験をさ イエズス会に入る前と後では私は

人生が思い通りではないことがわかり

大学入試はなかなかうまくいかず、

神を求める

カとアラスカでの1年間の第三修

中村 山田

山 橋脇 口

康 朝 邦 知 彦 満 聡 守 光 馨 夫 彦 (29) (29) (30) (31) (31) (32) (32) (32)

長崎コレジオ

古巣

烏 岩 山 村

し学生時代の禅寺の学びは体調ることは後で知りました。しか た。なつかしい仏教の雰囲気から を崩して諦めることになりまし トリックの修道院とよく似てい 争中の日本軍や体育会の 禅の生活がカ

そのうちに超教派の朝祷会に顔を出

神を賛美するため」(ロヨラのイグナ

使命をいただいて生きる神を求め、

どこに行っても多くの国籍の信仰者た 仕事を明らかにしてもらい、それを神 つことなどです。同時に、私の使命と向け、絶えず優れた信仰者を目標に持 まで求め続けること、広く世界に目を 徴があることを人生のなかで知りまし な人生の省察が読者に少しでも参考に れば幸せだと思います。 の力によって果たしていくことができ にあたって神を求めること、納得する た。宗教的環境に住むこと、人生の壁 こうして私は信仰にはさまざまな特 私のささや

密になれる兄弟姉妹がいるのです。 にとって世界中どこにでも初めから親

― 揺るがない信仰と賛美国人教会との出会い 大 司

の信徒たちとの関わりからも多くの知や若者が学びに来ていました。小教区 や若者が学びに来ていました。小教 語学院(当時)には世界中から神学生 識を得ました。 会いでもありました。台湾新竹市の エズス会との出会いは中国との 華

長崎

大司

教

髙見

三明

造られたのは神に栄光を帰するため、 質だと思います。「私たちは神によって うか。それは信仰者の幸せであり、本 こはあまりにも臭くて看守は近づかな の掃除をさせられたときがいちばん幸 プロテスタント牧師は、大きな肥だめ す。しかしそれから逃げていたのでは、 は不便や苦しみや誤解にさらされま はキリスト者であるかぎり、この世 いう教育を受けています。キリスト者 ある、そのときは覚悟するように」と 苦しみを受けなくてはならないことも 牢獄やキャンプにいた人を何人か知っ中国大陸の友人のなかには30年近く ることはなんという幸せなことでしょ 晴らしい信仰でしょうか。神をたたえ 美歌も歌えたからです。なんという素 かったので、自由に声を出して祈り、 れました。いつまでも信仰は中途半端だと学ばさ いころから、「カトリック信者として ています。彼らの説明によれば、小さ せだったと言っています。なぜならそ 労働キャンプに送られていた中国人

野下

センタ

下 山 橋口 川 本 長谷 浜崎 川口 阿野 萩原 後 好 千 誠 徳 清 英 哲 正 行 治 年 勇 一 美 司 徹 海 豊 利 猛 夫 栄 人 (50) (50) (50) (50) (50) (51) (51) (51) (52) (53) (53) (53) (53) (57) (61) (63) 類 忠 勲 功 彦 清 司 秋 仁 劭 栄 (41) (44) (44) (45) (45) (45) (46) (46) (47) (47) (49)

 上時神五出深丸香浦修幼さイエディー

 神島
 総会司系ズス子学

 崎津崎市津堀尾焼上館ス子

 上時神五出深丸香浦

福江・浜路 センタ 浦脇

田 大浦天主堂 セ 水 黒 ン _タ 北海道·函館 〕町崎 桐

竹 鶴 工藤 伸 秀晃 (10) (11) (11) 葛川尾岩竹 島原高本内 輝昭修繁英次 (11) (12) (12) (13) ビンセント・ラチェンダロ(50) 柳本 繁春(49) 小長井修道院 和本 繁春(49) 小長井修道院 一世 (48) 湯江修道院 一世田 正第(48) 湯江修道院 一世田 正第(48) 湯江修道院 一世田 正第(48) 湯 一世 (48) 一 ●聖アウグスチノ修道会 洋平(1) 東長崎修道院みさかえの園司祭館 仁史⁽¹⁵⁾ (18) 修 練 院 聖母の騎士修道院 ス・マホニー(53)

 褥 奈 三 西 大 浜 セ 浦 福 八 大 相 天 大 植 稲 小 山 三 大 紐 平 宝 中 飽 神 神 神 神 神 戸 ノ
 哟 木 学 タ リンジオ 町 曽 浦 神 院 松 佐 院 田 町 院 差 口 亀 町 浦 健二(8)

・ポムセノ(3)

"

マイケル・ヒルデン(40)

Щ

●レデンプトール会

宕

中野健 一郎 満(3) 岩下 裕志(4) 岩下 裕志(4) イ 浅 福 浦 小 俵 太 曽 水 タ ユ・ 神 田 ノ リ 井 学 ア 子 浦 上 院 町 尾 根 浦

修道会など

戸 片 岡

智 国 悦 仁 義 哲 樹 彦 夫 志 美 夫 (18) (34) (45) (51) (61) (61) 長 本 長 崎

原

冷水

若林

長崎修道院

江夏

"

下 川川 添

藤本・帯山

白紙中眞福中牧鳥下高浜﨑濱浦島村山瀬山野

大 五 諫 高 早 前 市

上石ア

●フランシスコ会

長崎修道院

ディアス·マヌエル(53) デ・ルカ・レンゾ(17) ジョン・クラークスン(59) ●イエズス会 アギラール・J・ホセは 〃 二十六聖人記念館 二十六聖人修道院 " ジェブーラ・エウゲニウス(26) 大川 好洋(23) 長崎修道院 松本 勝男(22) の 町 松本 勝男(22) の 町

演□ 末明(34)長崎修道院場づ長崎修道院

濵 川口上

下村 山内 山内

村中 峰

濵田 盛雄⑸ 湯江修道院 聖フランシスコ修道会●コンベンツアル みさかえの園司祭館 聖フランシスコ園

聖ルドヴィコ神学院ブー・カイン・トゥオン⑵

パサラ・ジョゼフ③ 0 ロボ・フェリックス(1) 〃

山崎 善彦(4) 海星修道院 本吉 克久(3) 小ヶ倉共同体 松本 幸徳(26) 海星学園 ●マリア会

●サレジオ修道会

ソボン・タデウス(28) ブリ・ヤン(32) 愛

●韓国殉教福者聖職修道会 ヤエスのカリタス センタ

●オプス・デイ 崎

●鹿児島教区 丘

どのように過ごされましたか。各地区、各

皆さんは、この1年余りの「信仰年」

信仰年を振り返ってみましょう

それぞれの過ごし方をされ、信仰を新たに 小教区、各修道院、各共同体、各家庭、各自、

し、あるいは深められたことと思います。

2012年10月11日から始まった信仰年の閉年ミサが、昨年11月24日(王である

23日にはカトリックセンターにおいて、24日には浦上教会において、韓国・仁川 教区の車 東燁師『一年』を発見れた(平戸地区の閉年ミサは下記「平戸ザビエル祭』を参照)。 さらに、 による講演会が行われた。仁川カトリック大学教授、未来司牧研究所所長として活躍する車師は、 行われた。また各地区でも同日、地区長在住教会において信仰年を締めくくるミサ キリスト)、髙見三明大司教と41人の司祭団、800人余の信者と共に浦上教会で

招きは終わることがない。今年開催される教区シノドス、来年の信徒発見150周年につなげる 13カ月に渡る信仰年は幕を閉じたが、「信仰の遺産を確認し、洗礼の喜びを取り戻す」信仰年の

新しい福音宣教に向けての提言」をテーマに、宣教についての課題を語った。

今までより頻繁にあずかるように努めまし メン」と応えましたか。ゆるしの秘跡には き意識して感謝のこころではっきり「アー てみていかがでしたか。聖体拝領をすると

とです。 理を学び直すことによって前よりも神様の 遠の救いへの道であるという確信を持つこ づくことです。信仰を中心とした生活が永信仰のありがたさ、大切さ、素晴らしさに気 れまでのようにこれからも大切なことは、 ことを少しでも深く理解することです。こ 自然にわき上がること、また聖書を読み、要 存在に感じ、感謝や賛美や喜びの気持ち ス・キリスト、聖霊のことを前よりも近 験を通して、父である神様、御独り子主イ 大切なことは、そのようなさまざまな体

共に信仰の道をしっかり歩み続けながら、 寄せるように努めて参りましょう。 その道を知らない人々を一人でも多く招き 令 られます」(教皇ベネディクト16世自発教 『信仰の門』7)。ですから、これからも、 「信仰は信じることによって成長し、強め

この閉年ミサにあたり、これまでいただい まった「信仰年」は、今日で一応閉幕します。

、全世界の教会で昨年10月11日から始教皇ベネディクト16世の呼び掛けによ

閉年ミサ説教

(髙見大司教)

教区代表者会議、つまり教区シノドス 開催に向けて前進しましょう

お祈りしたいと思います。

ことを分かち合いたいと思います

さて、今日は、長崎教区として次の3つ

を支え確かなものとしてくださるよう共に たお恵みを感謝し、これからの信仰の歩み

り「教区シノドス」に向けた歩みの中で「信 るために開催する「教区代表者会議」、つま 仰年」を過ごすようお願いしました。 「日本の信徒発見150周年」を準備す は、長崎教区では、2015年に迎え

央委員会を設け、その中央委員会を中心に備に取り掛かりましたが、今年の4月に中教区シノドスについては2年半前から準 向けての提案を分析し、教区として皆で取 するさまざまな意見や課題、そして今後に 案は、教区の皆様から寄せられた、現状に関一振言案」を作成しつつあります。この提言 提言案」を作成しつつあります。この提

たことですが、「ニケア・コンスタンチノー

したことでしょう。私が皆さんにお願いし

ブル信条」は唱えましたか。ラテン語で歌

聞き、ある人は黙想会で信仰について黙想

ある人は巡礼の旅をし、ある人は講演を

を伝え続けた先祖がいました。しかし今、教し、あるいは潜伏しながら命懸けで信仰減っていきました。それでも、あるいは殉 私たちはその信仰を受け継いでいるでしょ す。しかし禁教令が敷かれてからは次第に 前には信者は今の倍以上はいたと思われま そして長崎にまで広がり、今から400年 福音は次第に南の方へ下り、五島や島原へ、 ルの宣教によって、平戸から蒔かれ始めた 信仰でもあります。フランシスコ・ザビエ ためです。その信仰は先祖から受け継いだ 念や教区シノドスに向けてのこのような動 きは、何よりも私たち自身の信仰を見直す ところで、日本の信徒発見150周年記

方向が見えてきたようで、幸いに思います。取れます。 長崎の教会共同体の向かうべき スの提言案の中にこのような方向性が読み えなければなりません。幸い、教区シノド 表れるべきであり、さらには社会に対する 隣人に対する愛に満ちた言葉遣いや態度に だけではなく、社会の中での生き方、とくに うに、祈りや教えやおきてを守り行うこと 信仰は、これまでしばしばそうであったよ ンシスコ『信仰の光』6参照)。 べてを隅々まで照らすはずです(教皇フラ 光」は、私たちのこころ、考え方、生活のす き方を考えなければなりません。「信仰の からの時代の中で生きていくためには、生しかも、先祖から受け継いだ信仰をこれ 奉仕や貢献としても表れるべきであると考 すなわち、

新しい福音宣教に取り組みましょう

いのでしょうか。 くなり、力をなくすばかりです。これでいいます。長崎の教会は、このままでは小さ者は相変わらず非常に少ないまま推移して ころで、長崎の教会は、少なくとも数の上で する方へと向かわなければなりません。 見直しにとどまらず、信仰を積極的に証し信仰の見直しは、一人一人の信仰生活の は減少し続けています。そして大人の受洗 بح

れるものです。 新たな情熱は、神への信仰に新たに目覚め、 表現をもって宣べ伝えることをいいます。 の福音を、新たな情熱、新しい方法と新しい 福音宣教とは、永遠に変わらないキリスト に取り組む必要があると思います。新しい ません。そのためには「新しい福音宣教」 宣べ伝えることに本腰を入れなければなり た。主キリストのお望みに応えて、福音を ざまな情報技術を利用することはもちろん キリストとその福音を信じる喜びから生ま 信仰を「守るだけ」の時代は終わりまし 新しい方法は、現代のさま

> 夫しなければなりません。たとえば、信 うに、彼らに伝わるような表現の仕方を工 合った方法を用いるということが肝心で す。新しい表現も、現代の人々に分かるよ ですが、結局は今の時代の人々の考え方に いう説明の仕方があります。 は神様の豊かな祝福をもたらす力であると

と、つまり福音の精神を身に着けることが まず信者同志、福音を読み、要理書を理解 めることによって、互いに福音化し合うこ し、それを心の糧として生活するように努 いずれにせよ、信仰を証しするためには、

験として生き、さらに恵みと喜びの経験とれます。」そして信仰は、愛を与えられる経

(『信仰の門』7参照)。 して伝えられることによっ

て、成長します

う福音です。私たちの信仰が今後ますます

喜びと祝福に満ちたものとなり、この福音

よう知恵と勇気の賜物を祈り求めましょ をすべての人々と分かち合うことができる 徹底してゆるし、私たちが互いにゆるし合 宣べ伝えるのです。それは、私たちの罪を 私たちはすべての人々にキリストの福音を したいと思います。この方を信じるから、 ださる王であるキリストへの信仰を新たに

うことができるようにしてくださったとい

より、尽きることのない力と活気を与えらは、キリストの愛を日々再発見することに

はこう言われました。「信仰者の宣教活動

証しすることです。教皇ベネ

-ディクト16世

うになることでしょう。それこそ、福音を こころでかかわり、誰からも信頼されるよ 体験するようになれば、どん

もキリストのように真心から

の尊敬と愛の な人に対して

の愛によってすべてを治め、一つにしてく 差し出すことによって死を滅ぼし、まこと るキリストを祝います。ご自分のいのちを

また、神様を信じることから神様の愛を

「信仰年」を終える今日、

たちは王であ

新し い福音宣教に向けての提言

ヨハネ・



ネ

ないと断った上で、韓国での状況を踏まえ さ」とは「新しい情熱」「新しい方法」「新 教も説教の中で述べたように、この「新しれた第13回シノドスで確認され、髙見大司た「新しい福音宣教」。2012年に開か 時間の中でその全てを説明することはでき しい表現」を意味する。車師は、限られた た。ここでは講演での一部を要約する。 ながら、宣教についての課題を分かち合 引き継が

がある。それならば、その人が抱える問題を 解決のために宗教を渡り歩くという現実が ということができる。このような考え方に えを出してきた。反省しよう。「カトリック 抱えていた人々と真摯に向き合い、全て答 戸惑うかもしれない。しかし、世の人にとっ れる」ことが挙げられる。多くの人が問題 は問題解決のための宗教ではない」と言 してほしい。キリストはさまざまな問 の人は宗教を後回しにしてしまうだろう。 教とを結び付けることができないなら、そ なのである。もし私たちが、問題解決と宗 てそれが生死に関わる、つまり最優先事 解決するとき、その宗教は「競争に勝つ」 て、「自分が抱えている問題を解決してく者でない人がキリスト者になる理由とし キリストがどのように接したかを思い出 韓国の宗教社会学者の統計によると、

項

きたのではないか。これが、 一番大きな理由であることを忘れてはなら 宣教できない

まず群衆に向き合い、問題を解決し、それか 選んでいる。カトリックは良いのだが、自 たかを考えてみよう。そこには段階がある。 分の助けにはならないと考えている。これ まっている。カトリックに好意的である人 30%になっているはず。現実 好意を持っている人々が全てカトリック が弟子である。その弟子を養成し、その中 ら自分に従うか問い掛けた。 らない。キリストが人々とどのように接し は、問題解決をおろそかにした結果に他な でも、宗教を選ぶときには現実的な宗教を になっていたら、韓国のカトリック信者は る宗教はカトリックである。 からある人々を派遣した。こ ある統計によると、韓国で 群衆→弟子たち→使徒た ちというよう れが使徒であ 従った人たち は10%にとど カトリックに

ザビエル 祭

主よ、強めてください 信

め、平戸地区の信徒を中心に教区)の巡礼者ら17人をはじ 約310人が参加し、日本官 ミサには、留萌教会(札幌閉年ミサがささげられた。 教の先駆者で保護者でもある 教区)と太田教会(さいたま 会でザビエル祭および信仰年 'から、平戸ザビエル記念教 昨年12月1日 (日) 午後2

ビエルの福音宣教は神からの

は、この3つの段階の中で1番目に、そこには質的な高まりがある。 の語り掛け)に位置する。 (群衆へ

も「新しい情熱」を育んでくれる。 さないではいられない」(使徒4・20)と 答えた。私たち一人一人が福音を宣べ伝え 音を伝える者となった。捕らえられ、キリ 祈りを教えることが、宣教の第一の方法で を持っている。それはロザリオである。 当たったら良いのか。実は、最も良い道具 い。ロザリオの祈りは、自分自身のうちに るとき、見たこと、聞いたことを語らずには ストの名によって福音を伝えないように言 ある。ペトロは3回、キリストを否んだ。 を解決する」ことを伝えよう。ロザリオの いられないという体験をしなければならな われたとき、「見たことや聞いたことを話 しかし聖霊に満たされたとき、ペトロは福 ザリオの唱え方を教え、その祈りが「問題 カトリックはどのようにして問題解決に

聖人の取り次ぎを願った。 なければ、ミサ、行事などに

信条をラテン語で唱った。

てくださる。信仰の喜びが ている。私が信じるの て生きており、生かされたちは神の働きによっ ではなく、神が信じさせ 葉、行いが愛の行動となっ れた。また信仰宣言では、 らない。信仰があれば、言 大司教の勧めに従い、ニケ 参加しても真の喜びとはな ア・コンスタンチノープル 小教区)代表によってこの くくりとして、各小教区(8 て表れる」と強調した。 年間の取り組みが報告さ 奉納では、信仰年の締め

ビエル祭を終了した。 信仰年公式聖歌である「ク となる恵みを願いながら、 しは信じます)」を歌い、ザ レド・ドミネ(主よ、わた 参加者は、信仰の証し人

連載・

提言案

向

教区シ

ドス中央委員会

(5)

教区シノドスから恵みの年へ 最終段階

その準備を進めてきた。これからは、いよ 月に髙見大司教によって設立されて以来、 作成に取り組まなければならない。 いよシノドス本会議に提出する「提言案」 教区シノドス」開催に向けて、急ピッチで 髙見大司教が教区長となって、昨年末で 長崎教区シノドス中央委員会は、

だそうとして、4年前に「教区シノドス」 なお思ったほどの成果が見られないことか 信徒も参加した年代別グループで討議し、 道女会からの仮「提言案」を項目別に分け、 開催を宣言した。 ら、その原因を探り、それを解決するために に掲げ司牧活動を行ってきた。しかし、 し、交わり、宣教する教会づくり」をテーマ 10周年を迎えた。大司教は当初から「参加 顧問団・7地区・諸活動委員会、および修 昨年11月の司祭研修会において、教区の が必要かなどを皆で考え、解決策を見い

とするために、いま一度、短い時間しかない その結果を受けてついに具体的な提言案を 考える段階に入った。しかし、最終「提言案」 あらためて皆と考えていきたい。

教皇フランシスコのことば

て繰り返し語っている。 ·で、現在の教会がどうあるべきかにつ教皇フランシスコは、講話やあいさつ

時事】11月26日)などと語っている。教皇 の支援にもっと携わるべきだ」(【AFP= ばならない」(カトリック新聞2013年 それとも自分の心の中に閉じこもっている 世界に福音を告げ知らせ、使徒たちの教え ために、個人的に何をしたか自問しなけれ 会で歓迎され、愛されていると感じさせる 教会の聖性を高めるために、また人々が教 求めている」「わたしたちはキリスト者と でしょうか?」「全てのカトリック信者は 人に、出かけていって他の人と出会うよう ている場合だけだ」「キリストはすべての しての生活で証ししているでしょうか? 、誠実であり続け、付加価値を実際に生き 教会が自身を『使徒的』と呼べるのは、 「カトリック教会は貧しい人々

(昭和27年1月12日第三種郵便物認可)

第1013号

目覚めなさいと諭しているのではないだろ はなく、愛の行いにより積極的になるよういるが、それは、現代の教会がことばだけで

教会の姿

乏しい者はなかった」(使徒言行録4・34)。 信者たちは愛と奉仕の精神に満ちていたよ 代教会において「彼らの中には一人も

ときも、また禁教令が解かれてからも司祭あった。キリスト教が日本に伝わって来た なっていったのである。 を増やすきっかけとなり、魅力ある教会と の信徒の奉仕活動そのものが、洗礼志願者 や奉献生活者、それに彼らを手伝った多く りたいとの思いで行動していたところに る人、病気の人のことを考え、何とかしてや きに、それはいつも貧しい人や苦しんで 教会の魅力はどこにあるのかを考えたと 61

第24主日)。本来、「仕えられるためではなう者になっています」(「毎日の読書」年間司牧者は羊を養う者でなく、自分自身を養 が向けられ、奉献生活そのものの魅力が感ちの労働と生活の基盤とし、守ることに目 ることに力を注いでいるようである。また、 がカトリックでない方への宣教のきっかけ たのではないだろうか。そのために異宗婚 ずと信仰をおろそかにするようになってき ト信者であることに喜びを見いだせず、自 なり、反対に利己主義に陥り、自分がキリス じられなくなってきたのではないか。さら 奉献の場として築いた施設を今度は自分た 奉献生活を送る者たちは、自分たちが自己 てもらう立場に立ち、自分のものを確保す たキリストに倣うべき者たちが、逆に仕え く、仕えるため」(マタイ20・28)に来られ て見えているのも確かである。「わたしたち ものの、一方では、随分と教会の姿が変わっ それに熱心さの一部は受け継がれてはいる 祭・修道者・信徒の優しさ、謙遜さ、質素さ、 ケートによると、長崎教区の伝統である司 になるはずであったのに、逆にカトリック に、信徒たちの中には今の教会を誇れなく 現在の長崎教区はどうであろうか。アン

どうすれば

り、反対の立場に回ることさえある。さら の司祭、助祭、奉献生活者、信徒も、大司教の とが想像される。それ故、長崎教区すべて に刷新を煩わしく思う人も当然出てくるこ きな苦しみや痛みが伴うことは必至であ 当な覚悟を持って事に当たらなければなら を提案した。ならば教区の最高責任者は相 く訳にはいかないと考え、「教区シノドス」 いのだろうか。大司教はこのまま放ってお 換を迫られる立場にある人にとっては、大 ない。これまでの考えや習慣を変えるには うこのまま行き着くところまで行くしかな 会の姿からほど遠くなった長崎教区は、も 大きな犠牲が求められる。とくに大きな転 教皇フランシスコが語っている本来の

2 提言案

本来の役割を果たしていくことを目指す。 本来の役割を果たしていくことを目指す。 びている公益性、果たすべき使命から、宗教 である。 帯

始めるべきではないだろうか。そのために社の面=「いのち」を大切にすることからわれた教皇フランシスコの意向に従い、福にもっと携わるべきだ」(上記参照)と言 司祭、修道会、そして有志信徒には援助する的・金銭的基盤の確立を目的として、司教、を大司教館に移し、さらに支援のために人リックセンターを提供するため教区事務所リックセンターを提供するため教区事務所 教区は、まず必要な施設として教区のカト 「カトリック教会は貧しい人々の支援

きであり、医者や看護師を含めた専門チー親が子どもを産み育てられるよう配慮すべ で教会が支援する必要がある。そのために ろうが、少なくとも独立して生活できるま ムを組織する。 えない現代にあっては、教会が相談に乗り、 侵害されてはならない。しかし、中絶が絶のために、中絶などにより胎児のいのちが 格を持った存在として認められている。 は、人の命は受精したときからはじまり、人 ②胎児のいのちに関する教会の教えで そ

住まわせることさえできる。 センターに置くこともできるし、一定期間 ④離婚、家庭問題などさまざまな理

れからその覚悟が問われることになる。意向に本気で応えようとしているのか、こ

Ł

ことで、より信徒の協力が得られる。

⑧大司教は「よきおとずれ」(1005

覚悟が求められる。

③貧しい人の生活の原因はさまざまであ **.住所が必要であればそれをカトリック**

苦しんでいる人たちの相談の場所あるい 由で は

信者自身さえも教会を離れてしまい

い状態に陥っているようである。

割を果たすものと考えられる。 ることも確かである。そのた ログラム作成を信仰養成部と教会奉仕者

時避難場所として、センター

が大きな役

しかし、地区によって大

いめに共通した

きな差が生じ

(2) 教区財政基盤確立を目指.

快く協力してくれると信じる。 るところを削減すべきである。それでも経 会計を教区評議会に明らかにし、削減でき である。健全な教区会計に戻すには、まず 済的に教区運営が難しいと知れば、信徒 観料は教会建設、土地購入などに回すべき の状態ではない。あくまでも大浦天主堂拝 きく依存しているといわれているが、本来 ⑤教区会計が現在大浦天主堂拝観料に大

> 金の一部適用を考える。一菜 は、まだ使用規約も漠然とし 門家の定期的派遣も必要であ

力しプログラムに沿って行う。時には、専

いる。その経費

ている一菜募

する。

募金がカテキ

キスタ養成を司祭・修道者お

よび信徒が協 においてカテ

養成委員会が担当し、各地区

スタ養成にも充てられること

が周知される

共同司牧・小教区維持費のプール制につい くことはできる。しかし、今後状況によっ だし、司祭の給料と司祭館維持費をプー などが叫ばれるようになってきた。しかし、 かからず、共同司牧や小教区費のプール制 制にすることで、どの小教区にも司祭を置 将来を見据え再度研究する必要がある。た ての内容が十分理解されていない。それ故、 決断を迫られるかもしれない。 ては、小教区の役割が終わり次第閉鎖する ⑥地区においては信徒の減少に歯止め ル

があり、協力することは当然との意識の下年の信仰教育には信者すべてが関わる必要

宗教教育の充実と教会側から

の経済的支援

せない。青少

による学費の負担軽減が欠か

トリック学校に通わせるためには、学校の

ているが、それを踏まえ信徒

号)でカトリック学校の意義

について述べ

の子どもをカ

修道者の召命につながるであろう。に進められるべきである。ひいては、司祭・

(4) 司祭・神学生養成

3

⑦まずカテキスタ養成を優先すべきであ

者としてミサ前に祈り、念祷

の時間を設け、

が特に注目していることを考えると、聖職

教に大きな影響力を持ってい

いる。信徒たち

⑨聖職者たちの霊的生活や司牧生活は宣

2013年度司 提言案の検討に信徒・修道者も参加 祭研修会 道者も交信 徒、修 催となっ

祭研修会がカトリックセ 昨年11月26~28日、司 いるのか、何が問題なのの現状を皆がどう思って 集の意図を「長崎の教会 始めたかった」と語り、 人、シスター2人。 掛け声で終わらせないた かを共に考えることから の中で、教区シノドス招 「このシノドスを単なる めに、皆で考え、責任を負 髙見三明大司教は講話

長周大司教区 司祭研修会

性格上、司祭だけでなくた。 また教区シノドスの ンターにおいて行わ 提言案の検討に充てら 間の日程のうち2日間 シノドスを見据え、3日 た。今年度の研修会では、 今年5月から始まる教区 格上、司祭だけでなく れ 場に、7グループに分崎カトリック神学院を会 案の説明と質疑応答が行 センター・大司教館・長 委員会から出された提言 協力を願った。続いて13 われ、1日目が終了した。 い、実践していくよう 2日目は、カトリック

祭の みの 研

会と

が欠かせないとした。

ち修道会11人)、信徒24 た。参加者は司祭8人(う 維持費の問題、小教区婚、福祉に関連する テーマは、これまでかれて討議が行われ 出された提言案を教 ノドス中央委員会が した①宗教の使命、 に提

維持費の問題、小教区間の格差是正などについて を視野に入れた「財政」、③司 を視野に入れた「財政」、③司 を視野に入れた「対政」、③司 を視野に入れた「対政」、④小 は、「提言案が単なる要中央委員長の山脇 守師布された。教区シノドス のにしてほしい」と語り、 布された。教区シノドスまとめられ、参加者に配 グループの発表後すぐにの6項目。討議内容は各 主体的に取り組む姿 解決まで視野に入れ 望で終わるのではなく、 公費と 「異宗宗 たも 区シ 分類 発表された。これは、東 度からの第5期活動計 備などを考慮しての措 日本大震災による混乱、 で行われ、本来2013 を立てることになる。 案を踏まえ、2015年 150周年記念事業の準 教区シノドスや信徒発見 動を1年延長することが 年度で終了する第4期活 **、ドスに提出される提言** 県。 各委員会は、教区シ

再編成、本部組織のスリために、委員会の連携や

ム化を提案した。



なった3日目は大司教館 た頭島 光師は、家庭につ 員会の活動に携わってき 委員長として家庭特別委 現状を報告した。また、 を述べるとともに、自死者 いてのさまざまな課題の いた古木師に代わり、副 るスタッフの疲労などの の転居や支援活動に当た の増加傾向と、大槌ベース は、被災者支援への感謝 会委員長の古木眞理一 大槌ベースに派遣されて いて、家庭特別委員

髙見大司教は、本部事務 求める意見もあがった。 局の役割についての理解 区中心の活動への転換を 祭を含む適正な任命、地 を促し、諸問題については 教区活動と地区活動の連 司祭団からは、専従司 みを取り、年に一回一定期間の休みを公認おける心身の疲れをとるために、週一日休 員そろって年2回の研修会を行い、

一度は 会は黙想の家や神学院で行う。司祭団は全できる限り信者と一緒に行う。さらに黙想 公文書の研修を行う。聖職者は司牧活動に ザリオや十字架の道行きなどの信心業を

人からでも司祭を目指すことができること開けている。中学生、高校生、大学生、社会 を周知させ、必要に応じて体験入学を各段 階の神学院で頻繁に行う。 ⑩教区は神学生召命のための門戸を広く

で提出してほしい。5月から始まる教区シ 対する意見や批判も多々あることは十分承 く今年2月末までに書面で当中央委員会ま すべき点や補足すべき点があれば、遠慮な 憚のない意見がより必要となる。加味修正 する教区のこれからを見据えて行われるシ 知している。信徒発見150年を機に宣教 すべてを網羅できないが故に、「提言案」に が中央委員会がまとめた「提言案」である。 や仮提言案を基に、大まかで一部に過ぎない以上、シノドスアンケートなどからの意見 ノドスの貴重な参考意見にしたい。 ノドスのためにも、一人でも多くの方々の忌

かけて長崎市の鉄橋と浜フらが、16時から18時に

カトリックセンター別館

ドス中央委員会

をびっしりと綴っていること

で、まれに見る特徴といえる

2014年

地区評議会による提

第 3 2 会期 4 会期 4 会期

日

言案検討会

見の欄に、各自の思いや経験

さん一人一人が自由回答や意回のアンケートは、信徒の皆

としている段階です。

今後の主な予定は次の通り

5月

教区シノドス開会 付・意見収集

5月4~6

研修会での討議を経て、

、提言案

4 月 月

提言案を代表者に送提言案決定

結婚者、企業や大学に通 月24日、長崎在住の国際 (英語) グループでは11

長崎大司教区国際ミサ

人スタッフらが協力して フィリピン人信徒、日本

せしていただいたので、小教区に前もってお知ら

と、このほど、長崎に住む

被災地を支援しよう

うに募金箱に入れる子ど

もたちの姿もあった。

スタッフの1人は、「各

表者会議(以下、教区シノド年に当たる今年、長崎教区代始の年とするために、その前会に新たな長崎教区の宣教開

な節目を迎えます。これを機 徒発見150周年という大き

者、司祭が共に考えるところ

にあります。

を委員長に任命しました。こ

「脇 守神父(長崎コレジオ)

の事務局は、カトリックセン

シブドス中央委員

長崎教区シノドス中央委員会

委員長 副委員長

脇 守神父

それに先立って「教区シノ

いくのかを、教区の信徒、修道

員会が発足し、髙見大司教が

3 3 月 月 31 17 日 日

司教協議会報告書作教区シノドス閉会式

待っている人がいます。

古巣師は、「あなたを

います」と呼び掛け、全あなたを捜している人が

ての人の心に幼子が宿る

3 月 16 日

提言作成最終日

2015年 11月3日

教区シノドス最終日

受刑者の中には涙を浮か

を」と歌い終えたとき、

あなたのいのち

べている人もいた。

13年4月にシノドス中央委

2015年、長崎教区は信

長崎教区をどのように築いてを念頭に置いて、これからの

について紹介する。

トリックセンター別館」に所在を置く。昨年4月の教区シノ リア修道会 センター修道院」として開かれた建物、現在の てカトリックセンター開設時(1971年)に「お告げのマ

月号にようやく分析結果の概が、『よきおとずれ』 13年11あまりの時間を要しました

容を紹介することができまし

た貴重な意見の分析に、1年でしょう。皆さんから出され

今年5月から開催される教区シノドス。その事務局は、かつ

ドス中央委員会設立後、急ピッチで準備を進めてきた同委員会

史を踏まえ、髙見大司教が司その目的は、長崎教区の歴 牧の根本方針とした「参加し、

された意見がシノドス提言の

仮提言案を提出してもらい、

26~28日に行われた司祭

現在、各部門からシノドス

事 秘 務 書

榎 稔

山田良秋神父

中地区評議会

場 日 所 時

久志利津男神父

信徒発見150周年記念前年ミサのご案

2014年3月16日 カトリック浦上教会

 $\widehat{\mathbb{H}}$

て行われました。そこから出 れ、小教区・地区会合も続け

ス)が開催されます。 表者会議(以下、教区シノ

が11年から12年にかけて行わ ドスに向けてのアンケート

1階にあり、榎 稔氏が常駐し

別館(旧センター修道院)

台風30号被災者へ支援を

長崎と佐世保でフィリピン人信徒らが街頭募金

の被災也とこれ台風でピンを襲った台風で 昨年11月初めにフィリ 30 号 | たりする方、親にねだり、引き返して笑顔で寄付し付したり、通り過ぎた後 の呼び掛けに気付いて寄 表情もさまざまで、突然 迎えた通りでは募金者の 金を行った (写真)。 もらったお金をうれしそ オネガイシマース」と懸 フウボキン ヨロシク

フィリピン台集・実帯技能等金

生らはメモを見なが 「フィリピン タイ 年末を コ修道女会本部修道院聖母の騎士聖フランシス 瑞代会長)の主催により、 月17日と24日、長崎愛 聖母 奉仕団シナピス会(山 関係者、一般の高校生らフィリピン出身者と教会

0 騎士女子初 誓 願

(諫早市)において、髙見 願宣立を、神への感謝と 喜びのうちに祝った。 のベトナム人姉妹の初誓 0人の参列者は、初めて 家族や関係者ら約10

一明大司教司式による初 ヤニーナ アントニエッタ (バク・ニン教区 初誓願宣立者 グェン・ティ・ ゴー・

ガー

(スゥアン・ロックー教区 グェン・ブー・キム・ タン・フー教会) ジュエン

多くの人が再び幸せな人

喜びを分かち合った。 に一足早いクリスマスの

合う姿があった。

な依存症で苦しんでいる

JCCAは、さまざま

なった」と語った。 何よりもフィリピンのは約18万円と聞いたが、 人々の懸命さに胸が熱く また、佐世保市では

計57万9956円)は、 動で集まった義援金(合 動で集まった義援金(合 ラにある教会宛てにそれ も含む約60人の参加者が タスジャパンおよびマニ 被災地支援のため、カリ

J \mathbf{C} \mathbf{C}

れた。 執り行わ の参加者が集まった。れ、全国から約100 Addiction) 研修会が

連施設を運営する立場と A委員長の谷 大二司教 があいさつをし、開会。 があいさつをし、開会。 があいさつをし、開会。 祈りをもって閉会した。 理についての研修、分科 管理についての研修、ま 大阪に続き、今回初めて 開催され、2012年の 会や定例会などがあり、 た、施設職員としての倫 しての必要から防災危機 同研修会は毎年各地で ター31人が、受刑者と共長崎純心聖母会のシス の古巣 馨師と牧師2人、 の集いが行われ、教誨 お告げのマリア修道会と (諫早市)でクリスマス12月7日、長崎刑務所 12月7日、長崎刑務

長

A 研修 初の長崎開催

の委員会JCCA(Japan Catholic Committee On トリック依存症者のため トリックセンターで行わ

動。ダルクやマッ・・・ることを目的として活 崎 刑務 所 で ウ IJ ス 7

体が加盟している。 症者のための回復施設団 の薬物・アルコール依存



教区家庭特別委員会主催

▼召命祈願ミサ 1月24 日金19時、大浦天主堂。 日金19時、大浦天主堂。 年黙想会「私の道―テゼ 共同体の歌・沈黙―」 共同体の歌・沈黙―」 共同体の歌・沈黙―」 後道院。対象・キリスト 修道院。対象・キリスト

想行合方面日

の家 Sr. 中島。 2 月 2 日 (日) 14 ▶26聖人殉教記念ミ Tel. 095 - 821 - 4 (雨天時は中町教

寄 謝 付

ス 0

集

()

者たち80余人が集った。 サンダルに裸足、上着も羽 会場となった体育館には、 の受刑者が生活している。 エズス修道会大浦信 ショファイユ 長崎コレジオ の幼

師

刑務所には、約800人

抱えながらも、今に向き そこには、悩みや苦しみを 平戸地区評議会様 受修

●平戸地区信徒一同党長崎カトリック神学院 地区信徒一同 香典返し — 様院

ゼ他8曲を歌った。ひと書朗読と説教があり、テ書のきっかけ、聖 ことの大変さ、しかし神つのことに生涯を懸ける 長崎カトリック神学 ●平 キミ様(神ノ島) 故マリア相川ヤエ子様 故パウロ相川 晶様 相川恵美子様(浦 故セバスチァノ 上院

きてほしい かけがえのに信頼すれば大丈夫とい 芳志を賜りました。 とご報告を申し上げ 右の方々からご寄せ

たちと共にいてくだる出会いを通して、弱い 神のぬくもりを感じ ように共に祈った。 長崎純心聖母会 Sr. 坂 へた。 たさる私 この まず。 お礼ご 兀

午後

石

納骨堂

墓地工事

墓地分譲

(高尾・本原 他)

例年通り行われます。 大浦天主堂での3月17日

主の平安

カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二 長 崎 市 辻 町 7-18 TEL (095) 844-4011 FAX (095) 843-9896

24時間営業

碑

なが さき せき ちょう

ヨゼフ 岩永 博明 **宏(095)862-2469** 長崎市梁川町 6-17 岩永ビル 砕石·栗石·港湾用捨石—式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 剛 本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地 TEL (0956) 31-8268

十主の平安

▼ 禁五島式典社(斎場) 五島中央会館 京留会館

代表取締役 ヨゼフ 浦

24時間営業 五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74 - 5551 FAX (0959) 74 - 5552 TEL (0959) 64 - 3101 FAX (0959) 64 - 3102 五島市奈留町浦 1899 - 1

パウロ家族創立 100 周年記念 連続講演会 in 長崎

キリストのことばをすべての人に 一 新しい福音宣教 一

お 話 鈴木信一神父(聖パウロ修道会) 日 時 1月13日(月)14:00~16:00 場 所 長崎カトリックセンター (会議室) 参加費 無料

問合せ サンパウロ

〒 160-0004 東京都新宿区四谷 1-21-9 Tel 03-3357-7651

Fax 03-3357-7652 (担当 大山)

主催:パウロ家族創立 100 周年記念実行委員会 後援:聖パウロ修道会、聖パウロ女子修道会、 師イエズス修道女会

ずつ、かつての井戸は、水のない井戸に

ところが、すべてが変わった。少し

変わり果てようとしている。

■叶堂先生のご指摘

りで、人のいのちは養われている。

みことばにふれて 102

山川 忠神父

(カトリックセンター

実を捉えたことばである。井戸のほと

かえる(エゼキエル47・9参照)。真

水さえあれば、すべてのものが生き

(植松教会・中3)ット・池田 綾さん

析なさったのが、叶堂先生である。

うことだろう。

戸

は涸れ、水のない井戸に変わってしま

他者)を立てないし、扱わない。私たち悟りを開いた人である。仏教は神(絶対

は、神から入る。 私に存在を与え、そのい

えている。そうではない。仏(覚者)とは、多くの人が神と仏は同じものだ、と考

のだろうか。この水を飲んでしまったら ばだった。これはどこから湧き出た水な

の中で、一番衝撃を受けたのは、このこと

カトリックセンターに返ってきた回答

大司教区が実施した先のアンケートを分

が、推移し始めている、との先生のご指摘で

ばしる市井の水とは異なっているのだ。

のである。違いをわきまえる必要がある。 のちに招いてくださる神から入っていく

月25日、老衰のため

霊的な水は、蛇口をひねると、すぐほと

深い大井戸に喩えていい大司教区なのだ

数える。聖歌の演奏だけ 問演奏は今回で3回目を を行った。中町教会の青 用者との交流コンサー

「聖マルコ園」で、利 町にある養護老人ホー

年会では音楽活動が活発

であり、ボランティア訪

など、バラエティーに富 ではなく懐かしい歌謡曲

んだ内容で楽しい時間を

し、やりたいと思います_

また同コンサートに

気込みを熱く語った。

を落としては水を汲み、頬をなで、通り過ぎ

庭先に、かつては井戸があった。 つるべ

なくなった。汲む人がいなくなれば、井く豊かな水を汲みに来る信徒たちが、少高齢のためであろうか、井戸の中に湧

たちによって守られてきた。

■水のない井戸

のどをうるおしたものである。

るさわやかな風を感じながら、渇いた

7

ルコ園で交流コンサー

中町青年会・まず集まって楽しむことを

参加し、青年と共に得意たダニエル金 桐旭師も協力司祭として派遣され は、昨年2月に韓国・ソ 演奏を披露した。

いる。「日本語で説教した本語学校の勉強に励んで を目標に、日々、司牧と日 がたつが、日本語の習得金師は来日から約1年 が、まだ勉強中の私に

利津男師)青年会を中心

中町教会(主任・久志

平11月24日、長崎市西出とするメンバー7人が昨 するメンバー7人が

格と笑顔で、すっかり人 とっては難しいと感じま り、教会学校の授業をし 気者となっている。 たり。教会のいろんな仕 」と語るが、明るい性 南地区青年指導司祭も

る青年の数が少ないので 集まって楽しむこと、その 務めている同師は、「集ま 方法があれば良いことだ 司教の通訳でテゼ共同体集いでは、髙見三明大 集い」を中町教会で行い、 ランの話があった。「20 スタッフのブラザー・ギ 約8人が、平和と一致を 宗派を超えて集まった 願って歌い祈った。

残念に思います。教会に

所属する青年たちが皆、

(テゼ創始者) がテゼに 15年はブラザー・ロ 会は、待降節企画として 「TAIZE(テゼ)賛美の

い起こすよい機会に 来て75年。ロゼが残 してくれた遺産を思

ダヤ人を受け入れること に始まった活動。共同体 なるでしょう。第2

りましょう」

と各地区婦人会代表者ら 合婦人会の深堀茂子会長

助物資(米、野菜、日用品

など)と寄付金を渡した。

願生のためにと集めた援 の各小教区が神学生・志 ク神学院を訪れ、同地区 表者4人が長崎カトリッ

は、指導司祭大山 繁師と

●11月23日、長崎教区

(教区連合婦人会)

短

議会の山浦忠行議長ら代

ながら、「主に頼り恐れ同祈願、沈黙を織り交ぜ ず」などテゼの歌10曲を 共に歌った。

大槌ボランティア募集

続き募集し、協力を呼び掛けている。3月までに 実施される期間と申込締切日は次の通り。 て、大槌ベースキャンプへのボランティアを引き 長崎教区評議会は東日本大震災復興支援に関し

● 2 月13 13 日休 ~ 19 19 (水) (2/25 29 締切)

合わせは、教区本部事務局(渡辺)まで。 定員10名程度。申し込みは所属小教区へ。 問い

ゼ 致と和解の召命を生きる 賛美の

と長崎キリスト教協議 メニズム・諸宗教委員会 12月3日、教区エキュ 次大戦中、難民、中でもユ

員で、小さな一致のしるは30カ国約100人の会 頼し、静かに沈黙して祈 とが大切。イエス様に信 は、一致と和解、。信頼 には喜ぶ、祝うというこ の精神を持ち続けるため ています。私たちの召命 しになるよう共に生活し

> 学生養成援助献金として 共に大司教館を訪れ、神

765万7767円を髙

見三明大司教に手渡した。

どにも贈られた。届けた

純心聖母会の各志願院な げのマリア修道会と長崎 他に長崎コレジオ、お告

この平戸地区の取り組み 米の合計は約1・8トン。

は、今回で40年目となる。

●11月24日、平戸地区(平戸地区評議会)

X 評

カタリナ

スコ病院で帰天。

平戸市田平町生まれ。

永谷静代修道女

子ども聖歌 0 集

どもたちが日頃の練習の から参加した15教会の子 で行われ、長崎の3地区 も聖歌の集いが浦上教会12月8日、第22回子ど

れることは心をひとつに教会)は、「神様が望まの中で、金 桐旭師(中町 とができます。神様の笑も動作もひとつにするこ 顔、神様の喜ばれる姿を すること。そうすると声 第1部みことばの祭儀

成果を披露した。

て、素直できれいな歌声には手話や手拍子を交え を響かせた。教会のオリ れぞれ自分たちの教会に グループ(15教会)がそ ジナル曲やヒンドゥー ついて紹介し、聖歌を発

石、長与の3教会が優秀の、長与の3教会が優秀して、西町、滑い会式では、一致協力

の曲に挑戦した教会も ださい」と話した。 続く第2部では、 語

らは充実した時間を過ご で、子どもたちや応援団 雰囲気あふれる聖堂の中 賞に選ばれた。待降節の

を確かに生きていた。

本書は、聖書や第

「サンタ・マリアのご像 歩みにはいつもマリアの をがある。迫害時代の信 姿がある。迫害時代の信 をがある。迫害時代の信 をがある。迫害時代の信 をがある。迫害時代の信 をがある。迫害時代の信 をがある。。 しかし彼らは たちは、マリアについて をがある。 という真正な信仰 トへ」という真正な信仰

★聖母マリア崇敬論

新

刊 良

修道院入会。62年7月14

(お告げのマリア修道会) 出会う人に喜びをもたら保護者・地域の方など、持ち前の明るさで、園児・ 1959年4月5日田平 17日終生誓願宣立。 日初誓願宣立、78年2月

から水を汲み、湧く水を求めよ、とある。

■宗教はどれも同じ

箴言(5・15)には、あなた自身の井戸

死になって守り抜こうとした熱心な信徒いつの時代であれ、大井戸は、これを必 11 月16日、 聖フラン

主に保育事業に専念。

で全うし、ホスピス

園での園長職を10月

帰天。

マリー・ガブリエル 加太ふじ子修道女

(至聖贖罪主女子修道会)

年莊厳誓願宣立。 4年3月25日初誓願、57 三景台病院で帰天。97歳。 シスター加太は日本レ 神奈川県出身。195 奉献生

創立直後に入会した2人 デンプトリスチン修道会 の姉妹の1人で、創立者

送った。 崎修道院で奉献生活 があために土地の下見を た。長崎修道院の創立の発展のために働いてき チン修道院聖堂で行 葬儀・告別式は11 を おり買 活く

れた。 17 を長しかき れス27 白蟻調査無料・駆除予防工事 5 ケ年保証付 大田白蝇研究所

日、本部聖堂で行わ

葬儀・告別式は11

代表者 マリア 大島陸子 (〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号 **倉長崎** 095−822−8 4 3 6 FAX 095-822-8488

ご先祖に心より感謝を・・・

材石治明

長崎本店 長崎市城栄町 13-1 電話 (095) 846-3598 大 村 店 大村市民霊園内 電話(0957)50-3008



カトリック 月 刊 誌 『福音宣教』2014 年のご案内

仰スはし合て信のの像海

- テーマ「希望 ――『見たことを告げなさい』」 ■新企画 「特集・希望への物語」震災地や社会の中で 力を尽くす人たちに働きかける神の望みとは
- ■新連載 「宣教と司牧の十字路にて――ある主任司祭 の航跡」稲川保明(東京教区司祭)/「食卓からのお もてなし――祈りをこめて」足立洋子(料理講師)/「私 の発達障害と信仰」吉川康夫(発達障害児療育センター しらゆりセンター長) / 「私に託された小さな『使命』」 リレー連載 (執筆者が各号で変わります)

購 読 料 6千円(年11回/8・9月号は合併号) 申 込 み 年間購読料を郵便局から振り込み 郵便口座 00170-2-84745

問 合 せ オリエンス宗教研究所 〒 156-0043 東京都世田谷区松原 2-28-5 Tel 03-3322-7601 http://www.oriens.or.jp/ *カトリック書店でも購入可 (1部 525円)